「日本語・日本文化研修留学生問題に関する検討会議」アンケート（平成３０年度）

本会議では、はじめに文部科学省担当者から「留学生政策」などに関してお話ししていただく予定です。その後、日研生を取り巻く問題について、参加者の間で意見交換をはかり、情報を共有できるようにしたいと考えております。

昨年度と同様に、参加大学から事例報告を行っていただきたいと考えております。

つきましては、各大学での実践例の報告にご協力くださいますようお願いいたします。

全体で２テーマ、各テーマ３大学として、合計６大学から事例紹介をしていただければと思っております。パワーポイント（あるいは紹介ビデオ）などによる事例紹介を１大学につき１２分程度として、テーマごとに質疑応答の時間を設けたいと思っております。

昨年度の参加者アンケートには、下記のようなご提案・ご要望がありました。ご報告テーマの参考例としてご覧ください。

・学内の他学生との交流について

・日研生の学内での所属（受け入れ部局）や科目履修の仕方

・修了レポート作成や研究指導の方法

・独自のさまざまな取り組み

・経費の使い方

・日研生受け入れで困ったこととその対応方法

・日研生を周知してもらうための取り組み

・修了生の進路や留学後の社会貢献

　なお、時間の制約上、事例報告を「行う」とご回答いただいた大学のすべてにご発表いただくことができない場合もございますので何卒ご了承ください。（ご紹介できなかったものにつきましても、文部科学省には、本アンケートの回答をお伝えいたします。）

大学名：

記入者所属・職名・氏名：

・事例報告について　（　行う　・　行わない　）←　○印をお付けください

・事例報告のテーマ　（　　　　　　　　　　　）←　上記の例以外でも結構です

◎回答は８月３１日（金）までに、電子メール（cjlc@office.osaka-u.ac.jp宛、メールタイトル「日研生会議（大学名）」としてください）、またはFAX（072-730-5074）でお送りください。

◎「行う」とご回答くださった大学には、調整などのため、あらためてこちらからご連絡させていただきます。

◎ご発表くださる場合には、Ａ４サイズ１枚程度のハンドアウトをご準備ください。

◎会議の活性化のため、事例報告にご協力くださいますようお願いいたします。